

平成22年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	オラとこの宝 (文化) 見て知ってくれや
事業主体 (連絡先)	生坂村教育委員会 0263-69-2087
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,769,446 円 (うち支援金: 2,212,000 円)

事業内容

村の礎となった各地区の遺産の存在と歴史についての説明板を住民が協働で設置したり、文化財のガイドブックの配布により、地域住民がその存在を知り大切さを学ぶことで、文化財の保護に対する意識の芽生えやその周辺の環境保全と景観形成を促す。

また、これら村に残る文化財や史跡についての学習会を開催し、他の地域の状況や歴史、文化などが再認識されることで、なお一層、自分たちの地域に残る文化財に対しての想いや環境整備が推進され、今後さらに文化財の保護と継承を行っていく。



【説明板設置】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

文化財や史跡の説明板を地域住民等が2月19日から3月27日の間に延べ約50名が協働して設置を行い、合わせて文化財のガイドブックを作成したことで、その価値と存在を明らかにすることができた。

また、これにより周辺の環境整備が促され、文化財の保全と景観形成が保たれつつあり、文化財の保護につながってきている。

そして、文化財や史跡等の文化財めぐりを3月9日、14日に行い、18名が参加しました。今後も生涯学習の推進を一層図っていき、各地域で後世への継承が可能となっていくと考えている。

【目標・ねらい】

- 教育と文化の振興
- 生涯学習の推進
-
-

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

今回整備した説明板やガイドブックにより、各地域に残る文化財が改めて見直されるきっかけとなったため、今後、地域住民等の協働による文化財の保全や環境整備が一層推進されると考えています。

また、これらを活用し生涯学習や郷土学習などの活動が容易に行えるようになったため、各種公民館教室の開催やイベントの実施などを行い、文化財の保護と歴史、文化の継承を行っていきます。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。